

## 第2次妙高市総合計画（平成27～平成31年度）の施策目標の達成状況（平成30年度実績）

【まちづくりの大綱1】にぎわいと活気あふれる・生命地域

大綱1の平均 152.4%

### 基本施策1 地域資源を活かした観光産業の振興

基本施策の平均達成率 98.8%

#### 主要施策1 四季を通じた観光誘客の推進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
観光入込客数	県観光動態調査に基づいた、市全体の観光入込客数	596万人	660万人	北陸新幹線の開業や新国立公園の誕生効果を見込み、約10%の入込客数の増を目標値とした。 現況値596万人×110%≒660万人	観光商工課	571万人 (H29年1月～12月)	578万人	64万人	-18万人	87.6%
外国人観光入込客数	外国人の年間観光入込客数（延べ宿泊客数） <small>※資料：長野・新潟スノーリゾートアライアンス(冬季)</small>	19,570人	30,000人	今後の宿泊客数の伸びを考慮し、6年で50%（年10%）の増を目標値とした。 冬季宿泊客H24:12,728人→H25:19,570人 約53%増 現況値19,570人×150%≒30,000人	観光商工課	55,658人	59,721人	10,430人	40,151人	199.1%

#### 主要施策2 効果的な観光情報の発信

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
妙高ファン倶楽部の会員数	市外に進学・就職・居住し、妙高の情報を発信し応援してくれる妙高市のファン数	1,547人	2,000人	妙高ファン倶楽部の会員数の毎年5%の増を目標値とした。 H24:1,412人 → H25:1,547人 前年比110%	観光商工課	3,306人	3,323人	453人	1,776人	166.2%
SNSの登録者数	ミョーコーさんのツイッターフォロワーとフェイスブック友達の合計	2,209人	4,000人	SNSの普及と新幹線開業による妙高市の知名度向上や積極的な情報提供を図ることから、6年で80%（年13%）の増を目標値とした。2,209人×180%≒4,000人	観光商工課	2,685人	2,687人	1,791人	478人	67.2%

#### 主要施策3 観光客受入体制の充実

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
観光地としての満足度	県観光地満足度調査における総合的な満足度の割合	84.9% (H24)	89.0%	H24年度の調査が最新。県平均が88.3%であるが、上越地域では糸魚川地域が88.7%と最も高いことから、これを上回る満足度（89%）を目標値とした。	観光商工課	87.4%	88.6%	4.1%	3.7%	99.6%
二次交通利用者数	「ぶらっと妙高号」の年間延べ利用者数	10,835人	12,000人	北陸新幹線の開業や、新国立公園の誕生効果を見込み、乗車人数の約10%の増を目標値とした。 現況値10,835人×110%≒12,000人	観光商工課	5,544人	4,688人	1,165人	-6,147人	39.1%

#### 主要施策4 観光基盤の整備

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
妙高高原ビジターセンター入館者数	妙高高原ビジターセンターの年間延べ入館者数	99,980人	120,000人	北陸新幹線の開業や、新国立公園の誕生効果を見込み、ビジターセンター入館者数の約10%の増を目標値とした。 現況値99,980人×110%≒110,000人	観光商工課	82,455人	72,060人	20,020人	-27,920人	60.1%
新規施設整備数	拠点施設、景勝地などの新規整備箇所数	6箇所 (H21～H25)	7箇所	赤倉山南麓湿原、ビジターセンター、観光案内看板、焼山避難小屋、妙高山トイレ、苗名滝公衆トイレ、池の平イベント広場	観光商工課	5箇所	5箇所	1箇所	-1箇所	71.4%

基本施策2 魅力ある農林業の振興

基本施策の平均達成率

85.3%

主要施策1 生業として成り立つ農業経営の推進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
担い手への農地集積率	市内水田面積合計のうち担い手が耕作している面積の割合	43.0%	50.0%	妙高市水田農業ビジョンでH29年度で47%を目標としていることを踏まえ、H31で50%を目標値とした。	農林課	45.6%	46.5%	7.0%	3.5%	93.0%
市内直売所の年間売上額	とまと、ひだなんの年間売上額の合計	341,712千円	400,000千円	とまと、ひだなんとも年商2億円を目標値とした。2億円×2施設=4億円	農林課	426,887千円	448,114千円	58,288千円	106,402千円	112.0%

主要施策2 農山村の保全と活用

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
中山間地域における営農継続面積	中山間地域等直接支払の対象農用地面積	746ha	780ha	H26年度の実績見込数値を基に、中山間直払取組集落等を対象に実施した聞取調査等による予測面積を目標値とした。	農林課	780ha	783ha	34ha	37ha	100.4%
優良農地保全面積	多面的機能支払対象の農用地面積	716ha	1,800ha	H26年度の実績見込数値を基に、新たな取組地域を見込み、目標値とした。	農林課	1,855ha	1,878ha	1,084ha	1,162ha	104.3%
市産材利用累計実績	市産材の使用材積量	8m <sup>3</sup>	703m <sup>3</sup>	H26年度：70m <sup>3</sup> /年、H27～H31年度：125m <sup>3</sup> /年を目標値とした。	農林課	82.6m <sup>3</sup>	82.6m <sup>3</sup>	695m <sup>3</sup>	75m <sup>3</sup>	11.7%

主要施策3 都市と農村の交流促進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
農村地域における交流人口	ハートランド妙高・地域活性化施設・直売所利用者数・教育体験旅行者数・クラインガルテン妙高の年間延べ利用者数	385,474人	449,500人	各施設におけるH31年度の利用者目標の合計を目標値とした。 12,500人(大滝荘)+4,900人(長沢茶屋)+1,000人(深山の里)+21,700人(友楽里館)+49,000人(苗名の湯)+9,400人(そばの花)+165,000人(直売センターとまと)+150,000人(ひだなん)+30,000人(ハートランド妙高)+6,000人(クラインガルテン妙高)	農林課	434,973人	451,284人	64,026人	65,810人	100.4%
クラインガルデン妙高利用者の移住・定住組数	クラインガルテン妙高利用者が移住・定住した組数	6組	12組	H27年度より各年1組。計5組の増を目標値とした。(H25年度比：6組)	農林課	8組	9組	6組	3組	75.0%

基本施策3 活力ある商工業等の振興

基本施策の平均達成率

75.9%

主要施策1 企業誘致の促進と市内企業の活性化

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
事業所数 (従業員4人以上)	工業統計調査による事業所数	59事業所	65事業所	1年あたり1事業所の増を目標値とした。 (1事業所×6年=6事業所)	観光商工課	51事業所	51事業所	6事業所	-8事業所	78.5%
製造品出荷額等総額 (従業員4人以上の事業所)	工業統計調査による製造品出荷額等の総額	1,043億円	1,400億円	製造品出荷額等総額は、リーマンショックにより、H21年度に大きく落ち込んだ後も少しずつ下降を続けている。大きな落ち込み前の数値に戻すのは難しいものの、落ち込み直後 (H21年度) のレベルに戻すことを目標値とした。 (参考: H21年度 1,408億円)	観光商工課	1,080億円	1080億円	357億円	37億円	77.1%

主要施策2 商業の振興とにぎわいの創出

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
中心市街地における空き店舗数	新井商工会議所による空き店舗数	7軒	1軒	1年あたり1件の空き店舗解消を目標値とした。 (1件×6年=6軒)	観光商工課	4軒	5軒	-6軒	-2軒	33.3%
妙高あっぱれ逸品の認定品目数	妙高あっぱれ逸品の認定を受けた品目数	41品目	71品目	1年あたり5品の認定を目標値とした。 (5品×6年=30品)	観光商工課	48品目	48品目	30品目	7品目	67.6%

主要施策3 雇用・労働環境の充実

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
有効求人倍率	ハローワーク上越管内での年間平均倍率	1.00倍	1.00倍	リーマンショックにより落ち込んだ有効求人倍率が、H25年度に数字上は求職者がすべて就職することができる1.00倍に回復したため、その倍率を維持していくことを目標値とした。	観光商工課	1.37倍	1.49倍	0.00倍	0.49倍	149.0%
地元就職率	就職した高校生のうち、妙高市・上越市の事業所に就職した率	78.6%	84.6%	毎年1%の増を目標値とした。 (1%×6年=6%)	観光商工課	78.7%	73.9%	6.0%	-4.7%	87.4%
U・Iターン情報提供サービス登録者数	市外在住者に対するU・Iターン情報提供サービスの登録者数	64人 (H26年10月末)	184人	毎年20人の増を目標値とした。 (20人×6年=120人)	観光商工課	93人	71人	120人	7人	38.6%

基本施策4 交流と暮らしを支える基盤づくり

基本施策の平均達成率

311.7%

主要施策1 並行在来線の維持と活用

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
妙高はねうまライン利用者数	市内有人駅（新井・関山・妙高原）における1日あたりの利用者数	1,748人	1,620人	H25現状値の93%（開業5年後88%+5%鉄道とまちの共生ビジョン推計）を目標値とした。 ※北新井駅は、鉄道事業者が公表していないため対象外	企画政策課	1,397人	1,406人	-128人	-342人	86.8%
トキてつサポーターズクラブの会員数	市内のトキてつサポーターズクラブの会員登録者数	0人	370人	沿線3市の全体目標3,000人に占める妙高市民の割合を目標値とした。妙高市の人口割合（12.45%）	企画政策課	234人	174人	370人	174人	47.0%

主要施策2 地域公共交通の維持

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
市営バス・コミュニティバス利用者数	年間延べ利用者数	41,151人	43,500人	今後、交通弱者が増加してバスの利用増加が見込めることを考慮して推計した利用者数を目標値とした。	環境生活課	96,181人	105,221人	2,349人		241.9%
コミュニティバス運行路線数	コミュニティバスの運行する路線数	4路線	7路線	現在、樽本線・大谷桶海線・妙高病院線・長沢線の4路線で運行しているが、今後は新井南部地域等で新たな路線の運行開始が見込まれるため、3路線の増を目標値とした。	環境生活課	4路線	4路線	3路線	0路線	57.1%

主要施策3 道路ネットワークの推進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
市道の整備率	市道総延長に対し整備された市道の割合	56.4%	57.3%	H31までの整備計画延長(395,991m+1,000m×6年)÷市道総延長702,076.5m×100=57.3% H25までの市道整備延長は395,991m。 市道整備計画延長は1,000m/年を基本とする。	建設課	56.9%	57.0%	0.9%	0.6%	99.5%
橋梁修繕率	修繕必要橋梁数に対し修繕された橋梁の割合	11.0%	27.6%	H31までの修繕計画45橋÷修繕が必要な橋梁数163橋×100=27.6%	建設課	18.4%	20.0%	16.6%	9.0%	72.5%

主要施策4 移住・定住の推進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
定住世帯数【累計】	住宅取得支援事業により転入と流出抑制された世帯数	0世帯	150世帯	年間25世帯の補助事業の活用	建設課	281世帯	352世帯	150世帯	352世帯	234.7%
移住定住者数【累計】	窓口を通じて移住定住した人数	6人	25人	過去5年の平均（3.8人）×5年=20人増	建設課	141人	239人	19人	233人	956.0%
空き家成約件数【累計】	空き家情報登録制度の成約物件数	2件	10件	過去5年の平均（1.6件）×5年=8件増	建設課	59件	101件	8件	99件	1010.0%

【まちづくりの大綱2】美しい自然と人が共生する・生命地域

大綱2の平均 84.5%

基本施策1 自然環境との共生

基本施策の平均達成率 82.6%

主要施策1 豊かな自然環境の保全と活用

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
国立公園利用者数	自然公園等利用者数報告書による妙高地域の利用者数	171万人	188万人	北陸新幹線の開業や新国立公園の誕生効果を見込み、約10%の利用者数の増を目標値とした。 現況値171万人×110%≒188万人	環境生活課	155万人	155万人	17万人	-16人	82.4%
エコツアー参加者数	年間延べ参加者数	938人	1,200人	新国立公園の誕生や、新設コースの設定などの効果を見込み、約30%の参加人数の増を目標値とした。 現況値938人×130%≒1,200人	環境生活課	1,183人	993人	262人	55人	82.8%

基本施策2 循環型社会の推進

基本施策の平均達成率 65.9%

主要施策1 資源循環のまちづくり

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
再生可能エネルギーの導入件数	公共施設における再生可能エネルギー導入施設数	5施設	8施設	3施設の導入を目標値とした。(さくらこども園、統合園(第一・水上・新井北)、妙高高原体育館)	環境生活課	8施設	8施設	3施設	3施設	100.0%
太陽光発電施設導入件数	一般住宅での太陽光発電施設導入件数	6件	36件	これまでの最高実績(H25年度:4件)を勘案し、年度あたり5件を目標値とした。 ※市補助による導入件数の累計 現況値6件+(5件×6年度)=36件	環境生活課	23件	28件	30件	22件	77.8%
焼却処理量	クリーンセンターでの一般廃棄物(家庭系・事業系)の焼却処理量	9,961t	8,433t	第1次一般廃棄物処理基本計画目標値(H27)と第2次同計画目標見込値(H37)の中間数値を目標値とした。	環境生活課	9,755t	9,892t	-1,528t	-69t	4.5%
資源化率	一般廃棄物総排出量のうち資源化された量の割合	28.7%	32.0%	第1次一般廃棄物処理基本計画目標値(H27)と第2次同計画目標見込値(H37)の中間数値を目標値とした。	環境生活課	30.7%	30.7%	3.3%	2.0%	95.9%

主要施策2 快適な生活環境の確保

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
河川のBOD環境基準達成率	県・市が行う市内11か所での水質測定の結果に基づく環境基準の達成率	100.0%	100.0%	県・市が行う市内11箇所での水質測定の結果、全ての場所でクリアしているため、現状維持(100%)を目標値とした。	環境生活課	90.9%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
地下水位の夏期平均水位	新井地域22箇所での夏期における最高水位の平均値(地上面を0とした深度)	-25.37m	-21.42m	水創生推進計画における地下水位の夏季平均水位を目標値とした。	環境生活課	-23.33m	-25.66m	3.95m	-0.29m	0.0%
クリーンパートナー登録団体数	クリーンパートナー制度への登録団体数	16団体	30団体	実績に基づき、年度あたり2.4団体を目標値とした。 現況値16団体+(2.4団体×6年度)≒30団体	環境生活課	26団体	25団体	14団体	9団体	83.3%

基本施策3 便利で快適な都市環境づくり

基本施策の平均達成率

99.0%

主要施策1 良質な住環境づくり

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
木造住宅の耐震化率	木造住宅に占める新耐震基準適合住宅の割合	66.1%	87.0%	県が策定している耐震改修促進計画で定められた数値を目標値とした。 ※木造住宅全体14,069世帯の内12,240世帯の耐震化を目指す。	建設課	70.0%	70.2%	20.9%	4.1%	80.7%
市営住宅の集約化	市営住宅の団地数	6団地	5団地	横町、高柳住宅(2号棟)を中川住宅に集約し、5団地とすることを目標値とした。	建設課	5団地	5団地	-1団地	-1団地	100.0%

主要施策2 克雪対策の推進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
道路除雪満足度	除雪支部長によるアンケート調査の結果	73.0% (H24)	80.0%	除雪支部長アンケートによる道路除雪の満足度(良好・ほぼ良好)の80%以上を目標値とした。 道路除雪の満足度は、降積雪量による影響もあるため、現況値はH24年度の数値を用いた。(H25は小雪のため84.8%)	建設課	71.6%	88.2%	7.0%	15.2%	110.3%
除雪路線延長	機械除雪の実施延長	384.9km	387km	H26以降での道路改良済延長及び市道認定路線延長の増加分を加えた推計を目標値とした。	建設課	388km	388.88km	2.1km	4km	100.5%
流雪溝整備延長	流雪溝の整備延長	59.0km	61.3km	H26以降での流雪溝整備予定延長を加えた推計を目標値とした。	建設課	60.28km	60.28km	2.3km	1km	98.3%

主要施策3 生活排水対策の推進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
汚水処理人口普及率	下水道等による汚水処理が可能な人口の割合	86.1%	87.9%	(区域内人口 ÷ 市の総人口) 28,549人 ÷ 32,469人	ガス上下水道局	88.8%	89.0%	1.8%	2.9%	101.2%
下水道水洗化率	実際に下水道を使用している人の割合	94.6%	96.2%	(接続・使用している人口 ÷ 区域内人口) 25,071人 ÷ 26,074人	ガス上下水道局	94.9%	95.0%	1.6%	0.4%	98.8%

主要施策4 ガス・水道の安定供給

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
白ガス管の更新	総延長に対し更新された白ガス管の割合	78.1%	100.0%	総延長12.0km ÷ 更新済延長12.0km	ガス上下水道局	100.0%	100.0%	21.9%	21.9%	100.0%
石綿セメント管の更新	総延長に対し更新された石綿セメント管の割合	86.3%	100.0%	総延長11.8km ÷ 更新済延長11.8km	ガス上下水道局	100.0%	100.0%	13.7%	13.7%	100.0%
簡易水道統合のための配水管の更新	総延長に対し更新された配水管の割合	47.1%	100.0%	総延長4.6km ÷ 更新済延長4.6km	ガス上下水道局	100.0%	100.0%	52.9%	52.9%	100.0%

【まちづくりの大綱3】次代を担う子どもが輝く・生命地域

大綱3の平均 87.1%

基本施策1 安心して子育てできる環境づくり

基本施策の平均達成率 106.0%

主要施策1 子育て支援の充実

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
子育て情報等の登録者数	スマートフォンアプリの登録者数	0人	700人	0歳～6歳の子を持つ世帯1,100世帯(児童手当受給者から推計)に公務員分(見込み)を加えた人数の6割の登録を目標値とした。 1,100人×1.1倍×60%≒700人(アプリはH26年度末に運用開始)	こども教育課	767人	879人	700人	879人	125.6%
子育て広場利用者の評価	子育て広場利用者によるアンケート調査の結果	90.0%	95.0%	H25年度は90%の高い評価を得ているが、さらなる内容の充実を図り95%の評価を目標値とした。	こども教育課	94.0%	98.0%	5.0%	8.0%	103.2%
ファミリーサポートセンター会員数	まかせて会員(支援を行う会員)の登録者数	102人	120人	子育て支援を行う会員の確保に努め、H25年度の会員数の約20%増を目標値とした。(102人×120%≒120人)	こども教育課	116人	123人	18人	21人	102.5%

主要施策2 幼児の教育・保育環境の充実

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
保護者の園評価	保護者アンケートによる園運営に満足している人の割合	90.0%	100.0%	H25年度は90%の人から満足の評価を得ているが、全ての保護者が満足することを目標値とした。	こども教育課	96.9%	96.8%	10.0%	6.8%	96.8%
認定こども園の子育て支援事業の利用者数	新設認定こども園の子育て支援事業の年間延べ利用者数	0人	3,000人	1日20人×150日(週3回)	こども教育課	3,454人	3,140人	3,000人	3,140人	104.7%

主要施策3 要保護児童等への適切な支援

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
育児不安の解消率	保護者アンケートによる育児不安を軽減できた割合	85.0%	90.0%	実績は、H24年度80%、H25年度85%と高い数値であるが、より高い成果を目標とし5%増の90%を目標値とした。	こども教育課	99.0%	98.7%	5.0%	13.7%	109.7%
子ども虐待の新規発生件数	虐待の新規発生件数	6件	6件以下	H25年度実績(6件)と同数値を目標値とした。 ※虐待予防の啓発に努めることにより、虐待発生件数を現状と同程度に抑える。	こども教育課	7件	5件	0件	-1件	100.0%

基本施策2 豊かな人間性と生きる力を育む教育

基本施策の平均達成率

64.3%

主要施策1 健やかな心と体の育成

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
いじめの解消率	いじめが解消された割合	97.3%	100.0%	いじめはすべて解消することを目標値とした。	こども教育課	83.1%	72.7%	2.7%	-24.6%	72.7%
不登校児童生徒の再登校率	不登校児童生徒が学校復帰した割合	36.0%	100.0%	全ての児童生徒を学校復帰させることを目標値とした。	こども教育課	38.9%	32.5%	64.0%	-3.5%	32.5%
児童生徒の肥満割合	肥満度が20%以上の児童生徒の割合	7.4%	7.0%	毎年0.06%の減を目標値とした。 (現況値 (H25) の0.36%減)	こども教育課	8.3%	8.5%	-0.4%	1.1%	0.0%

主要施策2 確かな学力の育成

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
全国標準学力検査(国語)の偏差値	全国標準学力検査の結果が全国平均を上回る割合	98.6%	100.0%	全小・中学校、学年で上回ることを目標値とした。	こども教育課	98.2%	93.0%	1.4%	-5.6%	93.0%
全国標準学力検査(算数・数学)の偏差値	全国標準学力検査の結果が全国平均を上回る割合	94.2%	100.0%	全小・中学校、学年で上回ることを目標値とした。	こども教育課	98.2%	96.5%	5.8%	2.3%	96.5%
コミュニティ・スクールの設置数	地域と連携した学校運営に取り組む学校数	0校	11校	全小・中学校で設置することを目標値とした。	こども教育課	10校	10校	11校	10校	90.9%

基本施策3 安心して学べる環境整備

基本施策の平均達成率

89.1%

主要施策1 学習環境の整備

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
耐震対策工事の完了校数	吊り天井落下防止対策工事の完了校数	0校	7校	H26: 新井南小、新井中央小、高原南小 H27: 新井小、高原北小、高原中 H28: 妙高小	こども教育課	7校	7校	7校	7校	100.0%
小・中学校大規模改修工事の実施校数	大規模改修計画に基づく改修工事延べ実施校数	4校	23校	H25: 新井小、高原北小、新井中、高原中 H26: 斐太北小、姫川原小、高原南小、妙高小、新井中 H27: 新井中央小、新井中 H28: 斐太北小、新井北小、新井中央小、妙高小 H29: 新井中央小、新井南小、新井中、高原中 H30: 新井中央小、新井南小、高原北小、高原中	こども教育課	16校	18校	19校	14校	78.3%



【まちづくりの大綱4】 健やかで人にやさしい・生命地域

大綱4の平均 99.5%

基本施策1 保健と医療の充実

基本施策の平均達成率 96.4%

主要施策1 総合的な健康づくりの推進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
運動習慣定着率	1回30分・週2日以上の運動を1年以上実施している人の割合	46.5%	54.3%	1回30分以上の運動（軽く汗をかく）を週2日以上、1年以上実施している人の割合を目標値とした。H34年度の目標を58%としており、H25の現況値46.5%に対し、毎年1.3%の増とした。	健康保険課	44.3%	43.3%	7.8%	-3.2%	79.7%
がん検診受診率	5種類のがん検診受診率の平均値	32.4%	42.8%	胃・大腸・肺・子宮・乳がん検診の受診率の平均値を目標値とした。H34年度の目標を44%としており、H25の目標値40.4%に対し、毎年0.4%の増とした。	健康保険課	33.9%	33.5%	10.4%	1.1%	78.3%
市内病院の常勤医師数	市内病院の常勤医師数	15人	19人	市内病院の常勤医師数の過去5年間の増員数を基に目標値を設定した。	健康保険課	15人	15人	4人	0人	78.9%

主要施策2 医療保険制度等の持続的運営

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
1人あたりの国民健康保険医療費の伸び率	過去5年間の年間平均伸び率	2.7%	1.0%	一人当たり医療費の抑制に向けた各種取り組みにより、現況値より減少を目標値とした。	健康保険課	2.3%	1.3%	-1.7%	-1.5%	85.3%
国民健康保険税収納率	現年課税分収納率	95.7%	96.0%	現状に対して若干上回る目標値とした。	健康保険課	95.7%	95.7%	0.3%	0.0%	99.7%
ジェネリック医薬品の使用率	全医薬品におけるジェネリック医薬品が使用された割合	34.5%	50.0%	概ね毎年、2.5%の増を目標値とした。（現況値 (H25) の15.5%増）	健康保険課	73.9%	78.1%	15.5%	43.6%	156.2%

基本施策2 高齢者・障がい者福祉の充実

基本施策の平均達成率 94.4%

主要施策1 地域包括ケアシステムの充実

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
要介護認定率	被保険者に対する要介護認定者数の割合	21.0%	21.0%	要介護認定者数÷高齢者数	福祉介護課	20.7%	20.4%	0.0%	-0.6%	100.0%
認知症高齢者グループホームの施設数	認知症高齢者の住まいを提供する施設の数	6施設	8施設	認知症高齢者グループホームの施設数 ・H26年度整備：1施設 ・第6期介護保険事業計画期間（H27～H29年度）：1施設予定	福祉介護課	8施設	8施設	2施設	2施設	100.0%

主要施策2 障がい者の社会参加促進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
地域活動支援センター参加者数	地域活動支援センターを活用する障がい者の人数	76人	100人	障がい者の社会参加促進のため、現状より増の毎年4人の増加を目標値とした。	福祉介護課	103人	108人	24人	32人	108.0%
障がい福祉サービス利用者数	障がい福祉サービスの利用者数	267人	320人	毎年、約3.3%の増を目標値とした。（現況値 (H25) の20%増）	福祉介護課	274人	269人	53人	2人	84.1%
グループホーム定員数	自立して生活するために、居住の場を提供し、生活支援をする者の数	24人	40人 (H29)	新たな施設整備による増加（16人）を目標値とした。 ・H26年度整備：8人 ・H29年度整備予定：8人	福祉介護課	32人	32人	16人	8人	80.0%

基本施策3 支え合いの地域社会づくり

基本施策の平均達成率

116.2%

主要施策1 地域での助け合い、支え合いの推進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
見守りネットワークの取り組み町内会・集落数	要援護者に対する支え合い体制を構築した町内会・集落数	142町内会集落	226町内会集落	見守りネットワークが稼働している町内会・集落数を目標値とした。	福祉介護課	226町内会集落	226町内会集落	84町内会集落	84町内会集落	100.0%
シルバー人材センター会員数	会員登録者数	384人	450人	11,353人 (H31高齢者人口見込) × 4% = 450人 ※現況では11,000人に対し、3.5%の状況	福祉介護課	360人	366人	66人	-18人	81.3%

主要施策2 生活保護受給者、生活困窮者の就労による自立促進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
就労支援により自立した者の数	生活保護に至る前の生活困窮者で就労支援対策を実施した者のうち、就労した人数	3人	6人	H26年度は、モデル事業として生活困窮者自立相談支援事業を立ち上げており、H27年度から必須事業として実施することで、約倍の就労を目標値とした。	福祉介護課	30人	17人	3人	14人	283.3%
生活保護受給者の保護率	市の推計人口に対する生活保護受給者の割合	0.80% (受給者276人)	0.80% (受給者256人)	生活保護受給者は、年々増加傾向にある中で、現状維持を目標値とした。	福祉介護課	0.85%	0.83%	0.0%	0.03%	0.0%

基本施策4 安全・安心な暮らしの確保

基本施策の平均達成率

93.9%

主要施策1 防災体制の確立

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
消防団員の充足率	定数 (1,120人) に対する割合	92.9%	95.0%	H26年度の充足率は90%とH25年度よりも下がった。毎年1%の増を目標値とした。	総務課	85.8%	94.3%	2.1%	1.4%	99.3%
自主防災組織による防災訓練実施率	実践的な訓練を行った自主防災組織の割合 (76/130)	58.5%	100.0%	全ての自主防災組織で訓練が行われることを目標とした	総務課	75.4%	76.2%	41.5%	17.7%	76.2%

主要施策2 防犯・交通安全対策の推進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
刑法犯罪発生件数	年間発生件数	217件	200件	H23...319件、H24...256件、H25...217件 と減少傾向で推移しているため、H31時点では200件を目標値とした。	環境生活課	137件	154件	-17件	-63件	100.0%
交通事故発生件数	年間発生件数	91件	85件	H23...116件、H24...102件、H25...91件 と減少で推移しているため、H31時点では85件を目標値とした。	環境生活課	43件	31件	-6件	-60件	100.0%

【まちづくりの大綱5】豊かな心と文化を育む・生命地域

大綱5の平均 94.5%

基本施策1 生涯学習・スポーツの充実

基本施策の平均達成率 104.5%

主要施策1 学びの環境づくり

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
社会教育施設利用者数	年間延べ利用者数	152,731人	154,000人	公民館、総合コミセン、文化ホール、勤研センター、わくわくランドあらい、妙高高原メッセ、克雪センター、関山・原通・大鹿センターのH25年度利用者数実績に大鹿交流館利用者数(計画値)を加えた数値の維持を目標値とした。	生涯学習課	161,652人	165,812人	1,269人	13,081人	107.7%
子縁活動人材ボランティア新規登録者数(累計)	子縁活動人材ボランティア新規の登録者数	69人	100人	広報紙による募集や登録者などからの紹介により、毎年約20人の増(新規登録)を目標値とした。	生涯学習課	124人	172人	31人	103人	172.0%

主要施策2 豊かな心の育成と市民主体の地域づくり

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
「妙高市民の心」推進運動の認知度	まちづくり市民意識調査の結果	65.8%	80.0%	今後も啓発活動を継続し、市民意識調査での認知度80.0%を目標値とした。	生涯学習課	71.5%	71.5%	14.2%	5.7%	89.4%
市民活動支援センターの利用件数	年間延べ利用件数	1323件	1500件	市内市民活動団体数は頭打ちの状況と考えるが、より高い目標として、現況値(H25)の約10%増を目標値とした。	総務課	1305件	1228件	177件	-95件	81.9%

主要施策3 生涯スポーツの推進と競技スポーツの振興

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
スポーツ教室等の参加者数	年間延べ参加者数	3,523人	3,700人	市民の運動習慣の定着とスポーツ活動の支援を積極的に行うことで、毎年約1%の増を目標値とした。	生涯学習課	4,056人	3,858人	177人	335人	104.3%
スポーツ施設の利用者数	年間延べ利用者数	288,758人	303,200人	市民の運動習慣の定着とスポーツ活動の支援や、市民の体育施設の利用促進とスポーツ合宿等の誘致を積極的に行うことで、毎年約1%の増を目標値とした。	生涯学習課	325,038人	326,712人	14,442人	37,954人	107.8%
全国大会以上の出場者数	年間出場者数	95人	130人	ジュニア競技やニュースポーツ、障がい者スポーツへの支援を行うことで、毎年約6人の増を目標とした。	生涯学習課	93人	89人	35人	-6人	68.5%

基本施策2 創造性豊かな文化のまちづくり

基本施策の平均達成率

77.0%

主要施策1 芸術文化の振興

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
大学連携事業の来場者数	妙高芸術祭(四季彩芸術展・市展・ジュニア展)、ウインドオーケストラ等の入場者数	7,886人	9,000人	北陸新幹線の開業や、新国立公園の誕生効果を見込み、PRを積極的に行うことで、現況値(H25)の約10%増を目標値とした。	生涯学習課	5,713人	5,840人	1,114人	-2,046人	64.9%
滞在型芸術・文化事業の参加者数	妙高夏の芸術学校等の参加者数	119人	150人	北陸新幹線の開業や、新国立公園の誕生効果を見込み、PRを積極的に行うことで、現況値(H25)の約10%増を目標値とした。	生涯学習課	80人	74人	31人	-45人	49.3%

主要施策2 歴史資産の保護と活用

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
歴史学習参加者数	斐太・関山・街道事業での散策者・学習者	2,458人	4,000人	北陸新幹線の開業や、佐渡金銀山世界遺産登録登録に向けた取り組みによる北国街道を中心とした歴史文化に対する関心の高まりにより、現況値から毎年10%の増を目標値とした。	生涯学習課	2,995人	3,759人	1,542人	1,301人	94.0%
指定文化財数	国・県・市指定文化財数	65件	68件	概ね2年に1物件の割合で調査・指定に取り組むこととし、目標値を68件とした。	生涯学習課	68件	68件	3件	3件	100.0%

【まちづくりの大綱6】 自立した地域を創る・生命地域

大綱6の平均 79.4%

基本施策1 市民協働のまちづくり

基本施策の平均達成率

80.7%

主要施策1 地域コミュニティの維持・再生

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
新たな共助活動の取り組みを始めた地区数	お助け隊などの日常生活支援の仕組みづくりが行われた地区数	10地区	20地区	現状の実践地区数を倍増し、全町内会地区数(193)の10%を目標値とした。	総務課	5地区	6地区	10地区	-4地区	30.0%

主要施策2 情報共有の推進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
市からの情報発信内容に関する市民の満足度	アンケート調査による市民満足度	70.9%	82.0%	広報・情報化推進アンケートにおいて広報紙を読みやすい(読みやすい、まあ読みやすい)と回答したかた(70.9%)を現況値(H25)とし、毎年2%の増を目標値とした。	総務課	84.7%	85.1%	11.1%	14.2%	103.8%
市民からの行政への意見・提案数	行政への意見・提案数	132件	100件	市に寄せられた意見等 ・苦情、質問…H25:109件 → H31:50件(半減) ・意見、提案…H25:23件 → H31:50件(倍増)	総務課	63件	110件	-32件	-22件	100.0%

主要施策3 人権意識の向上

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
人権が守られている社会だと感じている市民の割合	人権に関する市民意識調査の結果	74.2%	80.0%	人権に関する市民意識調査の結果(H30に実施)	市民税務課	-	72.4%	5.8%	-1.8%	90.5%

主要施策4 男女共同参画社会の実現

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
審議会等委員への女性の登用率	市政への女性の参画状況	26.2%	35.0%以上	H26の現況値31.8%に対し、毎年1%程度の増を目標値とした。	企画政策課	32.3%	31.1%	8.8%	4.9%	88.9%
「社会通念・習慣しきたりの中で男女平等である」と感じている市民の割合	まちづくり市民意識調査の結果	19.2%	24.0%以上	毎年1%の増を目標値とした。	企画政策課	17.8%	17.1%	4.8%	-2.1%	71.3%

基本施策2 効率的な行政経営の確立

基本施策の平均達成率

77.9%

主要施策1 持続可能な行政経営の推進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
<b>定員適正化計画に基づく職員数</b>	定員適正化計画の目標値	365人	324人	H26の職員数358人（一般会計329人）※計画策定時・技能労務職の退職不補充（▲12人） ・地方公共団体（市町村）職員数の前年比減少率（H21～H25の平均1.3%）で5年間減少させ、一般会計職員数293人＋企業会計等職員数31人＝324人	総務課	339人	329人	-41人	-36人	87.8%

主要施策2 健全な財政運営の推進

項目	指標の説明	現況値 (H25)	目標値 (H31)	目標値 (H31) の根拠 ※計算式、施設名など	関係課	H29年度 実績	H30年度 実績	増減目標 (H31-H25)	H30増減実績 (H30実績-H25)	達成率
<b>市税の現年度収納率の向上</b>	市税の現年度分収納率	95.1%	97.0%以上	市税現年度分の収入済額÷調定額	市民税務課	98.6%	98.7%	1.9%以上	3.6%	101.8%
<b>経常収支比率</b>	市財政の弾力性を示す指標	80.9%	81.0%以下	経常経費充当一般財源÷経常一般財源総額×100 県内トップレベルにある現状水準を維持	財務課	80.4%	81.7%	0.1%以下	0.8%	0.0%
<b>実質公債費比率</b>	毎年の実質的な借金返済負担の重さを示す指標	11.4%	13.0%以下	実質公債費比率（3カ年平均）＝（地方債の元利償還金＋準元利償還金）－（特定財源＋元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額）÷標準財政規模－（元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額） H25決算で、普通交付税を一本算定で試算したものであり、当市がH25で市町村合併による特例措置が終了した場合の比率	財務課	8.4%	8.2%	1.6%以下	-3.2%	100.0%
<b>将来負担比率</b>	将来負担すべき負債の財政を圧迫する度合いを示す指標	61.7%	71.0%以下	将来負担比率＝将来負担額－（充当可能基金額＋特定財源見込額＋地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額）÷標準財政規模－（元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額） H25決算で、普通交付税を一本算定で試算したものであり、当市がH25で市町村合併による特例措置が終了した場合の比率	財務課	9.2%	3.8%	9.3%以下	-57.9%	100.0%

全体達成率

108.0%